

3月24日 聖木曜日

## 僕の態度

ヨハネによる福音書 13章 1～15節

<sup>1</sup>さて、過越祭の前のことである。イエスは、この世から父のもとへ移る御自分の時が来たことを悟り、世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた。<sup>2</sup>夕食のときであった。既に悪魔は、イスカリオテのシモンの子ユダに、イエスを裏切る考えを抱かせていた。<sup>3</sup>イエスは、父がすべてを御自分の手にゆだねられたこと、また、御自分が神のもとから来て、神のもとに帰ろうとしていることを悟り、<sup>4</sup>食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。<sup>5</sup>それから、たらいに水をくんで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた。<sup>6</sup>シモン・ペトロのところに来ると、ペトロは、「主よ、あなたがわたしの足を洗ってくださるのですか」と言った。<sup>7</sup>イエスは答えて、「わたしのしていることは、今あなたには分かるまいが、後で、分かるようになる」と言われた。<sup>8</sup>ペトロが、「わたしの足など、決して洗わないでください」と言うと、イエスは、「もしわたしがあなたを洗わないなら、あなたはわたしと何のかかわりもないことになる」と答えられた。<sup>9</sup>そこでシモン・ペトロが言った。「主よ、足だけでなく、手も頭も。」<sup>10</sup>イエスは言われた。「既に体を洗った者は、全身清いのため、足だけ洗えばよい。あなたがたは清いのだが、皆が清いわけではない。」<sup>11</sup>イエスは、御自分を裏切ろうとしている者がだれであるかを知っておられた。それで、「皆が清いわけではない」と言われたのである。

<sup>12</sup>さて、イエスは、弟子たちの足を洗ってしまうと、上着を着て、再び席に着いて言われた。「わたしがあなたがたにしたことが分かるか。<sup>13</sup>あなたがたは、わたしを『先生』とか『主』とか呼ぶ。そのように言うのは正しい。わたしはそうである。<sup>14</sup>ところで、主であり、師であるわたしがあなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合わなければならない。<sup>15</sup>わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするようにと、模範を示したのである。」

他の朗読：出エジプト 12:1～8, 11～14 詩編 116:12, 13, 15～18 1コリント 11:23～26

## Lectio…読む

ヨハネは、弟子たちの足を洗うイエスという貴重な模範を私たちに与えてくれる、唯一の福音書記者です。

弟子たちの足を洗うという、彼らに衝撃を与えるような方法でイエスは自らへりくだりました。主人にとっての一般的なもてなしの形は、客が家に入るときに足を洗えるように水を用意することでした（ルカ7章44節）。召使いや奴隷がその仕事を与えられることもありましたが、おそらく弟子たちが彼らの先生の足を洗うことはあっても、その反対はあり得ません。これは聞いたこともないことでした。

この自主的なへりくだりは、キリストの十字架の重要なシンボルです。私たちは私たちの行いによっては救いを得ることができません。私たちが救われたのは神の子の謙虚な犠牲によってなのです。

ペトロは最初、このしるしを理解せず、抵抗します。イエスは、自分が足を洗うことをペトロは受け入れなければならない、と主張します。ペトロは更に勘違いして、今度は完全に清められることを望みます。イエスがここで求めているのは謙虚さです。イエスから受ける謙虚さです。これこそ、私たちが救いの恵みを受け取ることができる唯一の方法なのです。

この現実的な行動で、イエスは弟子たち及び私たちに、イエスが私たちに仕えるように私たちもお互いに仕え合わなければならないという非常に重要な教えを、自ら行ってみせたのです。

## Meditatio…黙想する

これがどれだけ信じられないほどの謙遜な行為であるかについて、考えてみましょう。神の子がご自分の弟子たちの足を洗ったのです。

イエスは私たちのために十字架の上で死ぬまで自分を低くします。罪の償いのために、私たちは自分たちでは何もすることはできません。私たちはただ、神のすばらしい愛に応え、彼の救いの恵みを受け入れる以外にありません。このすばらしい恵みに驚きましょう。

あなたがどのくらい、あなたの共同体の中の他のキリスト者たちに仕えようとしているかについて、よく考えてみましょう。イエスの模範に従うことができるように、また、あなたの仲間のキリスト者たちに仕える方法を教えてくれるように、神に願いましょう。

## Oratio…祈る

罪と永遠の死から私たちを救ってくださったイエスの大いなる謙遜を神に感謝しましょう。プライドと自己中心を克服するための助けを聖霊に願いましょう。

今日のあなた自身の祈りとして詩編 116 編 12 節の言葉を祈りましょう。聖霊が語りかけようとするどんなことにも耳を傾けましょう。

「主はわたしに報いてくださった。わたしはどのように答えようか。」

## Contemplatio…観想する

キリストの愛と謙虚な犠牲、私たちのための痛みを伴う死、私たちとの交わり、私たちを父なる神のところへ導いていきたいという彼の終わることのない望みについて、時間をとってよく考えてみましょう。